

オンラインを活用した研修

2021年度相談支援従事者指導者養成研修

日時：2021年9月17日

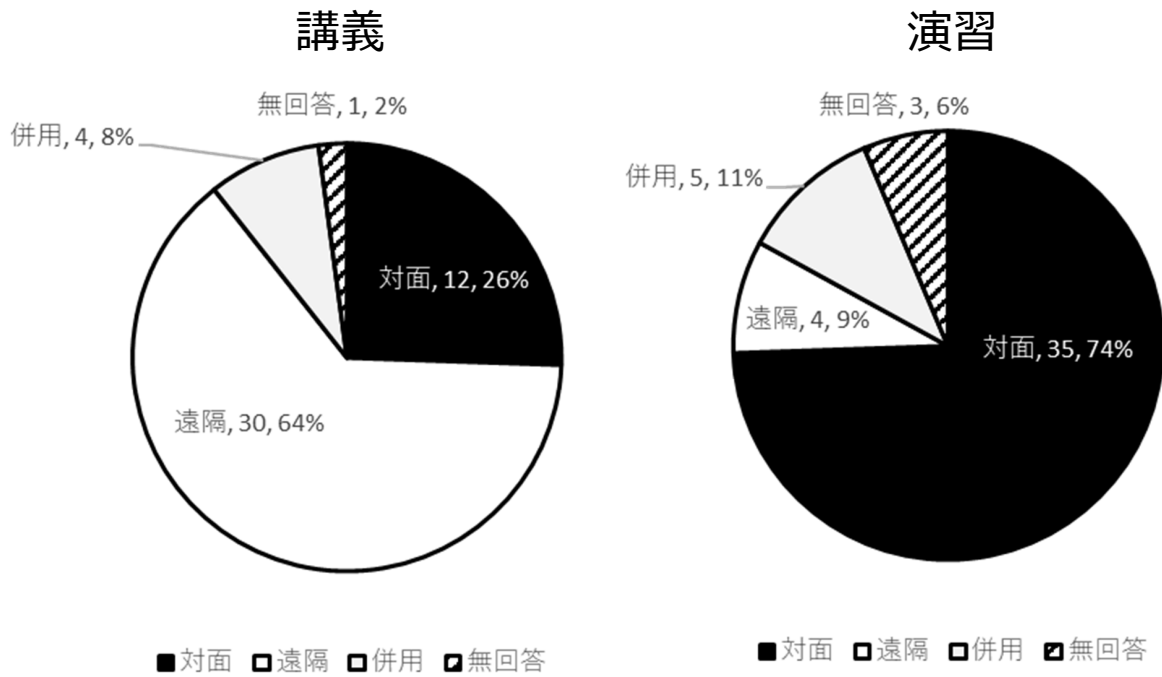
和泉短期大学 鈴木敏彦

福井県立大学 相馬大祐

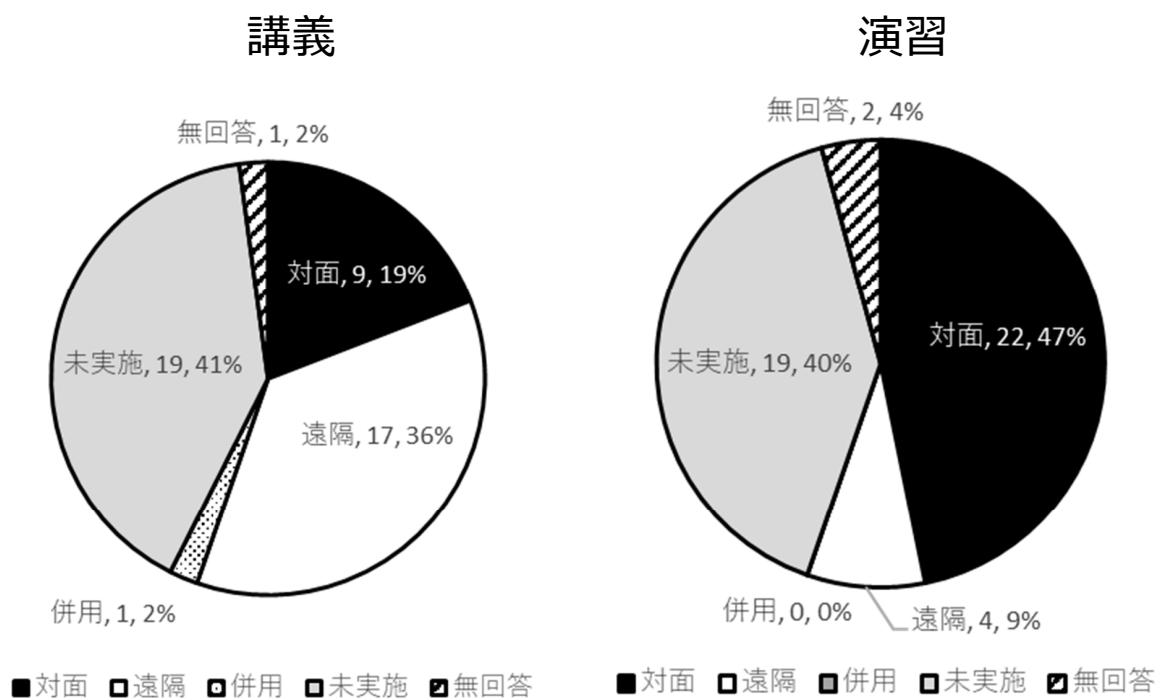
お話し内容

1. 令和2年度の実施状況
2. 講義と演習の実施方法別の利点と欠点
3. 欠点を補う方法の紹介

令和2年度実施状況（初任者）



令和2年度実施状況（現任）



令和2年度実施状況から分かること

- 講義は遠隔で実施している都道府県が多い。
- 演習は遠隔ではなく、対面で実施している都道府県が多い。



- 講義と演習では実施方法（対面、遠隔（ライブ・双方向、オンデマンド・録画））の利点と欠点が異なる。
- それぞれの利点と欠点を認識するとともに、欠点を補う方法について確認することが求められる。

講義の実施方法別の利点

実施方法	運営側の利点	受講者の利点
対面	<ul style="list-style-type: none">• 受講者の反応を見ながら話ができる。• 集中していない人を確認できる。	<ul style="list-style-type: none">• 周囲の視線があるため、緊張感が保ちやすい。• 受講後の雑談ができる。• 講師への質問がしやすい？
オンデマンド	<ul style="list-style-type: none">• 時間の制約がない。• 会場の予約や移動が不要。• 安心・安全	<ul style="list-style-type: none">• 好きな時に視聴できる。• 何度も視聴できる。• 会場への移動が不要。• 安心・安全。
ライブ	<ul style="list-style-type: none">• 会場の予約や移動が不要。• 安心・安全	<ul style="list-style-type: none">• 会場への移動が不要。• 安心・安全。

講義の実施方法別の欠点

実施方法	運営側の欠点	受講者の欠点
対面	<ul style="list-style-type: none"> 急な日程変更は困難。 感染症への不安。 	<ul style="list-style-type: none"> 日程や場所の制約がある。 感染症への不安。
オンデマンド ライブ	<ul style="list-style-type: none"> 受講者がいつ、どのように視聴しているか分からない。 通信環境を整備できない講師、受講者への対応。 受講者の反応が分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> 集中力が必要。 目や腰が痛い。 周りの人の反応を知ることができない。 通信環境に左右される。 講師とのコミュニケーションが取りづらい。

講義の実施方法別の欠点を補う方法

実施方法	運営側の欠点	受講者の欠点
オンデマンド ライブ	<ul style="list-style-type: none"> 受講者がいつ、どのように視聴しているか分からない。 ⇒受講者とのコミュニケーション 通信環境を整備できない講師、受講者への対応。 受講者の反応が分からない。 ⇒受講者とのコミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> 集中力が必要。 目や腰が痛い。 ⇒適度な休憩 周りの人の反応を知ることができない。 ⇒受講者間のコミュニケーション 通信環境に左右される。 講師とのコミュニケーションが取りづらい。 ⇒受講者とのコミュニケーション

受講者と講師のコミュニケーションの方法

〈オンデマンド〉

- 受講後、google form等で振り返りシートに記入してもらう。
- 受講後、Web上で小テストを行う。
- 講師のアドレスを公開して、メールでの質問を受け付ける。

〈ライブ〉

- チャットで質問を受け付ける。
- 選択式の問いに対して投票させる。
- 受講後、google form等で振り返りシートに記入してもらう。
- 受講後、Web上で小テストを行う。

⇒受講者間のコミュニケーションを取るためには、上記の振り返りシートの内容を共有するといった方法がある。

振り返りシートの例

☆ 全画面をすべてドライブに保存しました

質問 回答 31



第11回障害者福祉論リアクションペーパー2021年度

2021年6月24日の構成員動画を見た後のリアクションペーパーになります。

このフォームでは 福井県立大学ユーザーのメールアドレスが自動的に収集されます。 [設定を変更](#)

名前

記述式テキスト (短文回答)

学籍番号 *

記述式テキスト (短文回答)

今日は相談支援について考えました。今日の授業を受けて印象的だったこと、気持ち等を書いてみましょう。

記述式テキスト (長文回答)

今日は授業を受けて、質問・疑問があれば、下記に書いてください。なければ、空欄でOK。

記述式テキスト (長文回答)

受講者間のコミュニケーションの例

2021年7月5日 第11回

■今日のテーマ

・相談支援 ・肢体不自由

1. 10回の振り返り

■みんなの気付き 障害者差別について

- ・ 障害者に対する偏見によって意識的に虐待・差別をする人もいれば、無意識に差別する人もいると思うけど、社会全体が障害者を1つのカテゴリーとしてみるのではなく、1人ひとりとして向き合って理解するべきだと思う。
- ・ 障害があるという大きなくりによって全ての人がこれではできない、あれもできないと言われるのは違うと感じました。しかし、全員に理解を求めるのも難しい話なので、事例を考えた時にはどう対応するのが正しいのか、ものすごく悩みました。自分で対応を考えるのは大切だと改めて感じました。
- ・ やはり障害は社会にいる人たちの無知や偏見から生まれるため、社会に大きな原因があるのではないかと改めて思いました。
- ・ “障害のある人”というカテゴリーをつくってしまい、無知や偏見から差別が生じてしまうことは改善していかなければならないと感じた。様々な場面でのすばやい対応力を身に付けたいと思った。
- ・ 障害者の方の対応がとても難しいと感じました。でも、とりあえず、拒絶しないで話し合うことや上の物に相談してみることが最善だと分かりました。

■相馬のコメント①

前回は障害者虐待防止法と障害者差別解消法について学びましたが、障害者差別についての気付きが多かったです。その中で差別というのはカテゴリーを作り、そのカテゴリーへの無知や偏見から起こるという話をしました。最初の方が書いていただいているように、障害者というカテゴリーで考えるのではなく、1人ひとりとして向き合い、理解することが大切になります。この授業で皆さんに考えてもらいたい点はまさにその点です。障害といっても、医学モデルと社会モデルの考え方があり、そして、医学モデルで考える障害にも身体障害、知的障害、精神障害、発達障害などがあり、例えば、知的障害とい

演習の実施方法別の利点

実施方法	運営側の利点	受講者の利点
対面	<ul style="list-style-type: none">・ 雰囲気分かりやすい。・ 集中していない人を確認できる。	<ul style="list-style-type: none">・ 雰囲気分かりやすい。・ 雑談ができる。
ライブ（ブレイクアウトセッション）	<ul style="list-style-type: none">・ 会場の予約や移動が不要。・ 安心・安全。	<ul style="list-style-type: none">・ 会場への移動が不要。・ 安心・安全。

演習の実施方法別の欠点

実施方法	運営側の欠点	受講者の欠点
対面	<ul style="list-style-type: none">急な日程変更は困難。感染症への不安。	<ul style="list-style-type: none">日程や場所の制約がある。感染症への不安。
ライブ（ブレイクアウトセッション）	<ul style="list-style-type: none">雰囲気分かりづらい。	<ul style="list-style-type: none">雰囲気分かりづらい。発言がしづらく、沈黙になりがち。

演習の実施方法別の欠点を補う方法

実施方法	運営側の欠点	受講者の欠点
ライブ（ブレイクアウトセッション）	<ul style="list-style-type: none">雰囲気分かりづらい。 ⇒受講者とのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">雰囲気分かりづらい。発言がしづらく、沈黙になりがち。 ⇒丁寧な説明、他のツールの併用、ダブルファシリテーターの導入、受講者の選定（経験の高い人のみ、少人数）等

他のツール使用例 (google jamboard)

210525就労支援サービス

①

特徴

- ホームレスの人が得意な自転車修理に注目した取り組みを行っている
- 苦手なことを強要せず、その人の得意なことを仕事として行うことができる
- 就労リハビリ 徐々に仕事を増やす
- ホームレスからの出口を与えるだけでなく、入り口もふさぐことを目的としている
- ホームレスの方々のストレスを活かして就職支援をしている。
- ① 路上生活からの脱却を可能とする複数の選択肢を提示する
- ホームレスの人の多くが得意とする自転車修理に注目している。車の修理の機会を提供する。もしなくても、車の修理や自転車修理も大歓迎しているところがある。
- その日暮らしにならないように日払い、週払い、月払いと段を作って報酬を与えている

支援展開

- 単いた日数によってシフトも増やすなど、頑張った人が利益を得られるような仕組みを作り、やる気を引き出している
- 孤立脱却**
- まずはその日の生活→自分のペースで仕事→貯金→住居→就職
- Yさんのペースに合わせた仕事量
- 身内がいらないなどホームレス状態になる前から孤立状態であり、人とのかわりか少ないため、人とのコミュニケーションを必要としにくい仕事から行ってもらい慣らしていった

まとめ

- 講義と演習の実施方法別の利点と欠点はそれぞれ、存在する。
- 重要なことは、利点と欠点を把握したうえで、それぞれの都道府県の実情にあった現実的で、効果的な方法を採用すること。
- 紹介した欠点を補う方法は1部。また、あくまでも欠点を補う方法であって、欠点を無くす方法ではない。
- オンラインでの学びを過信せず、一方で過小評価せず、うまく活用しながら、今の状況を乗り切りたいですね。